



学会ホームページ <http://jasce.jp>

025号(2015年3月29日)

目次

2015年 全国大会
会員情報の変更届け
年会費入金のお願い
学会ワークショップ 今後の予定
協同学習ワークショップ in 別府
学会主催ワークショップ
各地の研究会・勉強会

2015年 全国大会

第12回JASCE全国大会を久留米大学・御井キャンパスで開催します。現在、準備委員会を立ち上げ、開催に向けて鋭意努力中です。現時点で確定していることをお知らせします。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

1. 大会日

10月16日(金)プレセッション
10月17日(土)一日目
10月18日(日)二日目

2. 発表等募集

(1) 発表等募集

開始日
2015年4月20日(月)
締切日
2015年7月1日(水)

(2) 発表要旨等受付

開始日
2015年7月1日(水)
締切日
2015年7月31日(月)

3. 事前参加登録および

参加費等入金

受付開始日

2015年8月1日(土)

受付締切日

2015年9月18日(金)

(注)締切日に間に合わない場合は、大会当日、大会受付で参加を受け付けます。大会受付の混雑を避けるために、できるだけ事前登録をお願いします。

(大会実行委員長 安永悟)



御井キャンパス

会員情報の変更届け

異動や転居などにもなつて、所属・住所・学会誌の送付先・メールアドレス等の変更があった場合、すみやかに会員情報変更をお願いします。届け出は学会ホームページの「会員情報変更フォーム」から随時可能です。

(<http://www.jasce.jp/php/1044form.php>)

年会費入金のお願ひ

2015年度の年会費(4,000円)のご入金のお願ひと過去の年会費のご入金記録を郵送でお届けしました。

本会では3年以上、年会費の入金が滞った方については会員資格を失効する方針が定められ、2010年度以

降の入金履歴を対象として、昨年度からその手続きが実施されることになりました。本会の記録に齟齬がある場合、また入金が遅延するご事情や分割入金のご要望などがございましたら、事務局 (office@jasce.jp) までご連絡ください。

学会ワークショップ 今後の予定

● ベーシック

5月30日(土)～31日(日)

会場:中京大学名古屋キャンパス
5号館2階522教室
講師:水野正朗・杉江修治

8月29日(土)～30日(日)

会場:南山大学D棟
講師:長濱文与・石田裕久
運営:南山大学人間関係研究センター

● アドバンス

8月1日(土)～2日(日)

講師:未定
会場:創価大学(八王子市)

11月14日(土)～15日(日)

講師:関田一彦・石田裕久
会場:南山大学D棟
運営:南山大学人間関係研究センター

※参加申込者が一定数に達しない場合、開催を中止することがあります。また、定員数を超えた場合、開催日まで日数があつても申込み受付を終了する場合があります。各会場の開催情報は学会HPで順次公開していきます。

(<http://jasce.jp/1031workshopphp>)

ワークショップ

● 協同学習ワークショップ in 別府

昨年に引き続き、湯の町別府で学会公認ワークショップ(ベーシック)を開催しました。

開催日:3月21日(土)-22日(日)

場所:大分県社会教育総合センター
2階第1セミナー室(別府市)

参加者:37名(南は沖縄、北は東京から参加)

講師:安永 悟

運営:須藤 文・秦喜美恵

今回の特徴として、医療看護領域からの参加者が22名(60%)と多かったこと、そして、組織的な参加が多かったことをあげることができます。

医療看護領域、特に看護学校関係者が多い傾向は、今回のワークショップのみならず、全国的な傾向です。看護教育において、協同学習が高く評価されていることは嬉しいことです。同時に、期待に応えられるワークショップを、今後とも展開する必要性を感じます。

もう一つの特徴として、ひとつの組織から複数名が参加するケースが多かったです。具体的には、中村学園大学7名、藤華医療技術専門学校6名、別府大学3名、中部大学3名、大阪労災看護専門学校3名、ソニエ看護専門学校関係2名、熊本電子ビジネス専門学校2名、久留米大学2名です。大学や学校に協同学習を導入する際、組織として取り組むことの有効性は既に認められていることです。このように組織的な参加が増えたことは、協同学習に対する期待の大きさを感じます。

今回の研修では、いつものように初日の夕方、情報交換会を開催しました。会場はインドネシア料理専門店「ホットマンゴ」でした。料理がとても美味しいということで昨年に引き続き使わせてもらいました。料理を堪能したのはもちろんのこと、参加者が33名と、ワークショップ参加者の80%を越える参加があり、

盛会でした。二日間、昼も夜も充実した時間を過ごすことができました。

以下、今回のワークショップに参加した増井沙奈江さん(久留米大学)が二日目の感想として述べた一部を紹介します。

「本日の大きな収穫は、グループ活動の中で生じたズレを分かち合うことができ、グループで対話することにより、そのズレを解消することが実際にできたことです。その場には、ズレを否定することはなく、ズレを受容し歓迎する雰囲気や信頼感がしっかりと醸成されていたと感じます。だからこそ、お互いに納得するまで自分の考えを発言することができましたし、そこからお互いの意見を尊重し合いながらすり合わせをして一つの方向性へと導いていく過程は、とても充実していました。休み時間に突入しても、自然と対話を続けていたことに嬉しささえ感じました。この感覚を会って二日目の皆さんと体感できたことは本当に大きな収穫でしたし、協同学習の重要性や希望を改めて強く感じました。」

● 学会主催ワークショップ

開催日:2015年3月21日(土)-22日(日)

場所:創価大学教職大学院棟
(八王子市)

参加者:ベーシック23名、アドバンス8名

ベーシック講師:水野正朗・関田一彦

アドバンス講師:伏野久美子

運営:三津村正和

<ベーシック>

創価大学でのベーシックのワークショップでは、協同学習の授業観・学習観と基本的な協同学習の内容や手順を「体験的に」理解することを目標にしました。参加者の勤務先は小学校・中学校、高校、特別支援学校、専門学校、大学と多様でしたが、「先生」であることは共通です。「生徒として学ぶ自分の姿や心を、教員としてのもう一人の自分が分析する」という体験は、このようなワークショップでなければ味わえないものだと思います。

参加者からは「協同学習の技法を実際に体験することで、生徒がどのような気持ちになるか、どのような効果があるかがよく分かりました。そして、他の先生方とそれについて討議することで、大変考えが深まりました。」「ふだん余り意識せずに取り組んでいる実践を理論から整理することができ、とても有意義な時間が過ごせました。」「参加者が協同的であること(目的の共有・共通の価値観の形成)が場づくりに重要だと実感しました。



様々な立場の人との対話の意味等のキーポイントを「実感」できる構成はさすがだと思います。」などのコメントをいただきました。

受講者のみなさんは個性的であり、かつ協同的な方ばかりだったので、講師としてもとても楽しい二日間を過ごせました。御礼申し上げます。(水野正朗)

<アドバンス>

アドバンスのワークショップを創価大学で上記の日程で行いました。北海道からははるばるいらした参加者もいるなど、こじんまりとしましたが熱気あふれるワークショップとなりました。初めにアドバンスに参加される方、リピーターの方、小学校の先生、看護学校の先生、大学の先生、どなたもみな学びたいことをしっかり持って参加してくださいましたので、本当に密度の濃いワークショップとなりました。ベーシックからさらに一歩進めて協同学習をより深く学べたのではないかと思います。話し合いに熱中して思わず時間を忘れるほどでした。

技法を使うたびに、それは何のために、何に気を付けて、自分の授業ではどのように使うかなどを共にじっくり考えました。また、よく使われるジグソーを実は正しく理解していなかったことに気づいたり、建設的討論法を体験した後に頭の中でどのようなことが起こっていたかなどを考えたり、協調のスキルを身につけることの大切さを実感したり、常にアクティブで頭をフル回転させた2日間でした。ワークショップ終了後、みなさん、「頭がぐらくらするぐらい疲れたけど、本当に楽しかった」とおっしゃってください、手ごたえのあるワークショップになったのではないかと、講師としてはとてもうれしく思いました。参加者のみなさん、素晴らしい学びの場を共有させていただき、本当にありがとうございました!

最後に宣伝です。ベーシックを終了された方は、ぜひアドバンスにもいらしていただき、協同学習の醍醐味を更に体験していただければ、と願っております。(伏野久美子)



JASCE

各地の研究会・勉強会

(名古屋・東海地域)

名古屋・協同の学びをつくる研究会

◇2月例会の報告

2月例会は、2月27日(金)19時から名古屋大学教育学部で開催されました。テーマ:「小学校3年生国語『もちもちの木』〜一つの言葉にこだわる〜」。報告者:三浦隆之先生(愛知県東浦町立石浜西小学校)、近藤茂明先生(東浦町立片葩小学校・初任者研修拠点校指導教員)。石浜小学校では全児童の約3分の1が外国籍であり、言葉の壁や生活習慣の違いなど授業を進めるうえで乗り越える課題が多いという背景があります。「もちもちの木」の授業検討では、主人公の豆太が、苦しむ「じっさま」のために真夜中に医者呼びに行く山場場面を取り上げ、豆太の「勇気」について出た子どもたちのたくさんの発言を多様な視点から分析しました。参加者は、授業記録を読み深めて追究する楽しさを共有しました。



参加申し込み、ご連絡は水野正朗まで。

(mizunokita@yahoo.co.jp)

(大阪地域)

協同学習を用いた看護教育研究会

◇第3回・第4回研究会の報告

大阪地区では、1月31日に水野理

事をお迎えし18名の参加者とともに第3回目の研究会を開催しました。ソワニエ看護専門学校の小川先生と大阪労災看護専門学校の児玉先生が実践報告をされました。グループでのディスカッションのあと全体で意見交換し、水野理事より貴重なコメントをいただきました。

3月21日に第4回の研究会を開催しました。別府や創価大で開催されるベーシックのワークショップに参加される方が多かったため、本研究会では協同学習のミニ研修を行い、理論と実践についてじっくり語りあう時間を持ちました。

第5回となる5月では、3月のワークショップに参加された方から学びの報告をしていただき、協同学習の波動をさらに広げてまいります。

◇今後の開催予定

場所:グランフロント大阪

アクティブスタジオ

時間:19時~21時

日程:5月8日、7月24日、9月25日、

11月27日、1月29日、3月18日

参加申し込み先

緒方巧(梅花女子大学)

(t-ogata@baika.ac.jp)

(岡山・中国方面)

協同学習研究会

◇平成26年度第4回研究会の報告

第4回研究会は、3月7日(土)14時00分~17時30分、岡山大学教師教育開発センター東山ブランチ(いつも通り)で開催しました。報告者は岡山市立操南中学校の横林慎也先生でした。横林先生は、数学授業でジグソー学習に挑戦され、その技法の課題も含めて研究的に取り組むだけでなく、学級活動等でも積極的に協

同学習の考え方/技法を採り入れておられます。数学(中学2年生)の授業「図形の調べ方(プーメラン型の角度)」について学習指導案や授業逐語記録をもとに具体的に報告していただき、授業研究を進めました。

研究会への参加申し込み、ご連絡は高旗浩志まで。

(takahata@okayama-u.ac.jp)

(福岡・九州方面)

授業づくり研究会

◇1月研究会の報告

1月31日(土)、グループづくりを含めた導入のあと、鹿内信善先生(北海道教育大学)による「協同の学びをひきだす看図アプローチ」のワークショップを行いました。さらに「看図アプローチによる見る力の分析」と題して、野上俊一先生(中村学園大学)から、学生の「保育者として見る力」を評価する手段として看図アプローチを用いた研究報告があり、参加者は看図アプローチと協同についての理解を深めました。

◇今後の開催予定

5月9日、7月25日(協同教育フェスタ)、9月19日、12月12日。

参加申し込みは安永悟研究室のHPからお願いします。

(<http://yasunaga.me/wiki.cgi>)

◇教員免許更新講習会

in 久留米大学のお知らせ

「児童・生徒の変化成長を保証する活動性の高い授業づくり」を協同学習の観点から検討する内容の教員免許更新講習を8月3日~8月5日の3日間(合計18時間)で開催します。募集開始はもう少し先になります。

お問い合わせは安永悟まで。

(yasunaga_satoru@kurume-u.ac.jp)